

別記様式第2号

持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進(令和3年度)に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物 ・畜種名	事業実施 初年度	成果目標の具体的な内容		成 累 目 標 の 達 成 状 況			評価機関名	東北農政局
						目標値	基準年	目標年 令和6年度	達成率		
青森県	—	青森県花のくにづくり推進協議会	花き	令和3年度	活動区域における「トルコギキョウ」出荷額の10%増加	172,770千円	157,063千円	147,264円	-62%	・生産供給体制強化のための技術実証、研修会実施	赤色LED電照処理による開花抑制効果及び切り花品質向上効果実証を通じて生産供給体制の強化を図り、また、県産花きの生産面での課題であった夏秋期生産の強化に取り組むなど、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
					青森市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の5%増加	10,448円	9,950円	7,741円	-44%	・花き需要拡大のためのプロモーション活動実施、花育・園芸体験実施	フラワーフェスティバルでの大型アレンジメント展示や幼稚園での花壇植付け体験等を通して、花に触れあう機会を増加させることで、花きの効用が理解され、花きの消費拡大につながる意識の変化がみられたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
岩手県	—	いわて花と緑の普及協議会	花き	令和3年度	岩手県における花きの生産金額の10%増加	45.9億円	41.7億円	44億円	55%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	りんどうの增收技術実証や小ぎくの省力化技術実証による生産の課題解決、県内における各プロモーション活動を通じた県産花きの利用拡大により花きの生産額は増加したが、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和3年度	盛岡市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の5%増加	10,673円	10,164円	9,583円	-114%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	県内における各プロモーション活動を通じた県産花きの利用拡大を図っているものの、生活必需品の物価高騰などにより花きの消費が減少しており、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和3年度	事業実施主体の活動区域における花きの国際認証を取得した生産者数の増加	1	0	0	0%	・国際認証(MPS)に関する研修会の開催	国際認証(MPS)に関する研修会の開催により、生産者の認証に対する理解は深まりつつあるが、合意形成等により認証の取得には至っておらず、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物 ・畜種名	事業実施 初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			具体的な 取組内容	農林水産省農産局、畜産局、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見
						目標値	基準年	目標年 令和6年度	達成率		
宮城県	—	宮城県花と緑普及促進協議会	花き	令和3年度	活動区域における「ひまわり」の販売数量の10%増加	130,472本	118,611本	235,478本	985%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会の実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。
	—		花き	令和3年度	事業実施主体の活動区域における「さく」の単位数量当たり生産コストの5%低減	61,469円/a	64,704円/a	53,704円/a	340%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。
	—		花き	令和3年度	活動区域における「さく」の収量5%増加	2,414本/a	2,299本/a	2,441本/a	123%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。
	—		花き	令和3年度	活動区域における「カーネーション」の新たな販売形態の拡大	1	0	1	100%	・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動、研修会実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物 ・畜種名	事業実施 初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			具体的な 取組内容	農林水産省農産局、畜産局、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見
						目標値	基準年	目標年 令和6年度	達成率		
秋田県	秋田県花きイノベーション 推進協議会		花き	令和3年度	活動区域における「ダリア」販売 数量の10%増加	899千本	817千本	564千本	-309%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、 花育体験の実施	令和6年は7月の豪雨と、その後の高温・少雨の影響により品質低下や枯死した株が多くなり、生産量が減少した。また、イベント等との連携や小学校での花育体験により、NAMAHAGEダリアを含め認知度が高まり、秋田県産品が品薄となった影響が大きく、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
					活動区域における「ダリア」販売 業者の取扱数量の5%増加	61千本	58千本	46千本	-400%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、 花育体験の実施	令和6年は7月の豪雨と、その後の高温・少雨の影響により品質低下や枯死した株が多くなり、生産量が減少した。また、イベント等との連携や小学校での花育体験により、NAMAHAGEダリアを含め認知度が高まり、秋田県産品が品薄となった影響が大きく、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
					活動区域における「小ギク」販売 数量の10%増加	9,541千本	8,674千本	8,936千本	30%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	日持ち向上試験では試験区と対照区では違いは見られず、県内におけるプロモーション活動を通じて花き消費拡大を図った。概ね需要期内の出荷となり、平年並の出荷量となつた一方で、秋田県産品の首都圏への出荷が増加した影響が大きく、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
					活動区域における「小ギク」販売 業者の取扱数量の5%増加	5,075千本	4,833千本	3,607千本	-507%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	日持ち向上試験では試験区と対照区では違いは見られず、県内におけるプロモーション活動を通じて花き消費拡大を図った。概ね需要期内の出荷となり、平年並の出荷量となつた一方で、秋田県産品の首都圏への出荷が増加した影響が大きく、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
					活動区域における「シンテッポウ ユリ」あきた清ひめの販売数量の 11%増加	10千本	9千本	3千本	-600%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	高温対策の技術が確立できず、県オリジナル品種のため、生産量が不安定となっており、令和6年は栽培戸数の減少や葉焼けにより、生産量が減少したことにより成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
					活動区域における「シンテッポウ ユリ」あきた清ひめの販売業者の 取扱数量の20%増加	6千本	5千本	3千本	-200%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	高温対策の技術が確立できず、県オリジナル品種のため、生産量が不安定となっており、令和6年は栽培戸数の減少や葉焼けにより、生産量が減少したことにより成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物 ・畜種名	事業実施 初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			具体的な 取組内容	農林水産省農産局、畜産局、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見
						目標値	基準年	目標年 令和6年度	達成率		
山形県	—	山形県花き生産連絡協議会	花き	令和3年度	山形県における花きの生産金額の10%増加	7,733,000千円	7,030,000千円	6,900,000千円	-18%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	技術向上による県産花きの安定供給及び品質向上、展示会や花育により興味関心が高まり、家庭での購入機会の増加等に結びついたものの、成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和3年度	山形市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の5%増加	10,745円	10,233円	10,870円	124%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動、品評会・展示会の実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。
福島県	—	福島県花き振興協議会	花き	令和3年度	活動区域における花き(さく)の販売数量の10%増加	22,472千本	20,429千本	21,049千本	30%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動の実施	さくの重要病害である「白さび病」の対策技術を現地実証、技術普及することにより、同病害による出荷ロス等が軽減され、出荷量が基準年を上回ったが、成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和3年度	活動区域における花き(トルコギキョウ)の10a当たり収量の5%増加	18,096本/10a	17,234本/10a	17,341本/10a	12%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動の実施	トルコギキョウの品質向上技術である「作型適応苗」の技術実証、技術普及により出荷ロスが軽減され、単位収量が基準年を上回ったが、成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和3年度	活動区域における花き(トルコギキョウ)の作付面積の10%増加	23.1ha	21.0ha	16.1ha	-233%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動の実施	実証ほを設置したいわき地方ではトルコギキョウの生産部会が設立されるなど新たな産地育成に向けて支援しているが、トルコギキョウの主産地である会津地方では高齢化等により作付面積が減少したため成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和3年度	活動区域における花き(鉢物全体)の販売数量の10%増加	2,842千鉢	2,583千鉢	2,223千鉢	-139%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会の実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動、品評会実施	品評会を継続的に開催することで消費者ニーズの把握に努め、生産に反映させているが、生産者の高齢化による生産規模縮小により成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和3年度	福島市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の5%以上増加	14,867円	14,159円	15,786円	230%	・花き需要拡大のための品評会の開催、花育体験の推進	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。

(注)成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。